

いけだ

No.117

議会だより

平成30年1月31日発行

2018年スタートダッシュ!!

～元旦マラソンより～



12月定例会 休日議会を開催

町民の皆さんと議会との意見交換会…… P. 3
一般会計補正予算の目玉…… P. 4～5
ここが聞きたい(一般質問)…… P. 8～12

新年のあいさつ

美しい町をよびとびつづる



議長 那須 博天

新年明けましておめでとございます。明るい希望の持てる新年を、ご家族皆様でお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。年頭に当たり議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

と思っております。

昨年6月にシヨッピングセンター「ツルヤ」さんが開店し、11月には松本信用金庫がアツプルランド跡地へ移転しました。また、「スペースロ」跡地を新しいまちなかの賑わい拠点施設として、10月より地方創生拠点整備交付金事業の取り組みとして進められております。池田町の商工業の活性化につながるよう願っております。社会資本整備総合交付金事業の道路は一丁目入口の整備が終わり、今は高瀬中学校グラウンド南の道路整備が進められています。

さて昨年も8月、9月の長雨や10月の連続台風等により、九州北部をはじめ全国各地で大きな災害の発生がありました。異常気象の一言ではかたづけられない状況となっております。池田町でもあつみ野広場のグラウンド災害をはじめ、広津地区や中鶴地区でも道路の災害が発生しました。が、幸い人命などへの被害は発生せず、良かった

と申し上げます。

今年には弓道場の移転建設が行われます。地域交流センターの建設も進みます。いくつものハード事業の実施により、町の活性化につながるよう願っております。議員の任期も来年4月までとなります。少子高齢化が進むなか、医療、福祉、介護などを更に充実させ、町民が安心して健康に暮らせる美しい町、住みよい町づくりに向けて行政ともども力を合わせて取り組んでまいります。

今年も皆様のご理解とご協力を切に願います。とともに、皆様の益々のご健勝と発展をお祈り申し上げます。

農業関係については、営農組合四組合により農事組合法人「池田町ファーム」の設立が昨年11月に発足いたしました。今後、

池田町一農場への取り組みとしての中心的役割を希望するところであります。また会染西部地区圃場整備事業も平成30年度より事業開始をめざし進められています。農地集積や規模拡大により、池田町農業の発展を願っております。

今年には弓道場の移転建設が行われます。地域交流センターの建設も進みます。いくつものハード事業の実施により、町の活性化につながるよう願っております。議員の任期も来年4月までとなります。少子高齢化が進むなか、医療、福祉、介護などを更に充実させ、町民が安心して健康に暮らせる美しい町、住みよい町づくりに向けて行政ともども力を合わせて取り組んでまいります。

今年も皆様のご理解とご協力を切に願います。とともに、皆様の益々のご健勝と発展をお祈り申し上げます。

農業関係については、営農組合四組合により農事組合法人「池田町ファーム」の設立が昨年11月に発足いたしました。今後、

委員長のあいさつ

議会運営委員長

倉科 栄司

新年明けましておめでとございます。

現在の議員の任期も、残すところ1年と4カ月となりました。平成25年10月に制定した、議員活動の基本となる議会基本条例も施行4年を経過しました。本年はこの基本条例について改めて見直し検討を行い、より良い条例にしていきたいと考えます。

また、地方議会とりわけ地方の町村議会の議員のなり手不足が言われて久しくなります。当町議会も前回の選挙では、定数と同じ立候補者になりました。36年振りに無投票となりました。他の議会で

も議員のなり手不足の解消に向け、様々な取り組みが検討されています。来年の町議選に向け、議会内で十分な検討を進めていきたいと思っております。

総務福祉委員長

大出 美晴

今年、町が着手している事業が徐々に完成を迎える年と考えます。行政、町民の皆さんが一生懸命取り組んできたことが花開く年になりますよ。この1年しっかりとチエックし、協力をしていきたいと思っております。

また、池田町第6次総合計画（平成31年度から10力年）の策定に着手してはいますが、委員会としても町民の意見をお聞きし、納得できるプランになるよう取り組むと共に、池田町の益々の発展に精一杯尽力してまいります。

このほか、教育保育課の放課後の子ども支援対策（子ども総合プラン）についても、プランの良き方向性を調査研究していきます。

平成30年も存在感ある委員会を旨とし委員一同頑張ります。

振興文教委員長

櫻井 康人

昨年5月の改選により新たな5人のメンバーでスタートしました。8月には、産業振興課事業「ハーバルヘルスツーリズム」を大峰高原八寿恵荘とその周辺で体験し、11月には岐阜県池田町で町営池田温泉の運営を、また、岐阜市の「憩いの森・ぎふメディアアコスモス」では複合施設や図書館のソフト運営について研修を行いました。

このほか、教育保育課の放課後の子ども支援対策（子ども総合プラン）についても、プランの良き方向性を調査研究していきます。

平成30年も存在感ある委員会を旨とし委員一同頑張ります。



開かれた
議会を目指し

第5回「町民の皆さんと 議会との意見交換会」を開催

今年は町内外で活動されている、池田町商工会と
池田町女性団体連絡協議会の皆さんとの意見交換会を行いました。

池田町商工会の皆さんのご意見

〈まちなかの賑わい拠点施設について〉

- ボランティアをつくりみんなの施設にしたい。
- 常駐者が必要である。
- 利益を生むかどうか確信がない。
- IT企業などに利用してもらい、若者が来やすい場所にした
- たい。
- 計画づくりをもっと明らかにしてほしい。
- 利用者を募るために力を合わせたい。
- 晴れるや市やビアガーデンなど、地域の人に提供してはど
- うか。
- 移住定住を進めるため、起業していける拠点にしてはどうか。
- 買い物は車が主流となっているが、車を降りて寄ってみた



話題はまちなかの賑わい拠点施設の活用

くなる空間
に。イベ
ントを多
く計画
し商店
街に足
を運ぶ
機会を
多く作
る。

〈若い働き手について〉

- 高齢化で事業をやめる人が多い。若い
担い手の確保を商工会でも考え、議会
でも考えてほしい。
- 大企業は休日が取れて、汚いことは機械
です。中小企業は、汚い、休みがない、
賃金が安いなどで担い手が来ない。安
曇野市は大工の学校がある。

〈6次産業化について〉

- 施設で収入を作り出す、6次産業で売り
出すなどを考え、県人会やふるさと納税
にも利用したい。
- 花とハーブの里推進部局をにぎわい拠
点に置けばよい。
- 商工会に6次産業部会ができ、農産物の
商品化が進む。農協と商工会の連携を
進める必要がある。
- 池田町は長寿、健康づくりの町。地元で
採れたものを地元で消費する仕組みを。

池田町女性団体連絡協議会の皆さんとの意見交換

〈新設される地域交流センターの今後の運営方針や建設に伴う安全 な交通道路整備について〉

通学路の安全対策は必要で、信号機の設置や30km規制など公安
委員会にお願いしています。みんなで声をあげていくことこそが町と
しての動きに繋がっていくと考えます。交流センターの今後の運営
やソフト面の問題は、要求してあり町民の意見をお聞きし調整をとっ
ていきます。

〈スペース・ゼロ跡地に「まちなかの賑わい拠点施設」について〉

国の地域創生拠点整備交付金により、町商工会が中心となり新たな産業の創出による活性化に繋げてい
こうというものです。オフィスやフリースペース・カフェを設け、交流スペースとしての活用を考え、6
次産業化の推進など使いやすい施設を考えています。さらにまちなか整備事業としてトイレの設置は要望に
応じ必要な所に設置を計画しています。

〈美しい花とハーブのまちづくり施策について〉

観光客誘致のため、看板の新設やハーブ園の改修、全町一斉清掃の毎月実施、地域おこし協力隊員を中
心としたハーブガーデンの植栽など、魅力ある町づくりに取り組んでいます。また、特産品（桑茶）の原材
料不足対策は検討しているところです。

そのほか「てるてる坊主のふる里・浅原六朗文学記念館」への提言や、てるてる坊主作品の活用法や家
庭配布の花の券の有効利用方法など、女性ならではの様々な発想や意見が寄せられました。



女性ならではの意見が白熱

皆様の率直な意見や問題点をあげていただきありがとうございました。

これからも多くの皆さんとの意見交換会を持ち、議員としても一歩前進できるよう努めていきます。

農業振興支援の 可決！！

予算決算特別委員会

質 疑

児童手当の増額

問 児童福祉費の増額は。出生数は何人か。

答 11月現在で38人。12月、1月と生まれる予定なので50人弱くらいが児童手当の給付対象と見込んでいる。



障がい者 福祉費の増額

問 障がい者福祉費の中で介護給付、訓練など指導、生活介護、就労支援の対象者は何人か。訓練を受ける規制はあるか。

答 支給決定者数は、18歳以上が96人、障がい児の方が33人いる。サービスを受ける方は、施設入所や自宅生活、自宅から就労目的で作業に行く方など利用目的は多い。

高額医療費の 増額

問 高額医療費が増えたが。

答 心疾患の手術が多く、200万円を超える医療費の件数が続いた。70歳代が多く、肝炎関係も多い。



家計を圧迫する医療費

農業経営力向上 支援事業は

問 農業経営力支援事業は、堀之内と池田ファームが対象となっているが町内1農場構想はどうなっているのか。

答 町内1農場を基本に1年余り進めてきたが、堀之内は単独で、他の4つの営農組合は農事組合法人「池田町ファーム」として設立した。今後、町内1農場を進めていきたい。

会染保育園の 今後の見通しは

問 会染保育園の建て替えの方針が出てその後動きがない。早急に取り組みを。

答 現在、幼保小中一貫教育の考えで、先進地の視察研修を行っている。原案を作ってから新しい検討委員会を発足させたい。



池田町ファーム設立される



福祉事業充実と 補正予算を

一般会計補正予算で決まった事業はなに!?

目玉事業ピックアップ

農業振興事業

551万円

財源

県補助金 551万円

- 新規就農者のブドウ苗木代補助事業（中之郷地区）
- 生産組合の法人化への取り組み支援事業
- ブドウ苗木用接木カッター代補助



山麓に広がるブドウ園

障がい者福祉事業

6919万円

財源

国補助金 3459万円
 県補助金 1729万円
 一般財源 1731万円

- 介護給付訓練など給付
- 日常生活用具給付（おむつ代などの補助）

中高生の 奨学金補助金

17万円

就学援助等の 補助事業

30万円

- 中学生育成奨学補助
- 高校生奨学補助
- 就学援助（入学準備金）

財源

一般財源 47万円

予防接種事業

134万円

財源

一般財源 134万円

- 高齢者肺炎球菌予防接種委託料
 接種者増による追加補正
 平成29年度の対象者は年度内（平成30年3月31日までに65・70・75・80・85・90・95・100歳となる方）

新電力会社への切り替えにより 町の歳出経費が削減されます。

電力自由化により安定供給と継続性や経済性を考慮し、高圧電力の9施設を中部電力から新電力会社（テプコカスタマーサービス）に変更する。年額約375万円が削減される見通し。



公共施設電気料の見直し

常任委員会での質疑

総務福祉委員会

●陳情 若い人も安心できる年金制度を国の責任で創設するための意見書提出について

意見 安心して暮らせる年金の改善が必要。老齢年金の場合10万円未満が受給者の60〜70%を占める。総務省の家計調査からは貯金を取り崩すか働かなければならない。マクロ経済スライドを行うと若い人も高齢者も安心して生活を送ることができないと思ひ賛成。

意見 財源が無くてはできないと思ひ。

意見 年金制度は、最低の生活補償であり、少子高齢化の大変な時代にきちんと国にお願いすべきと思ひので賛成。

審議結果 賛成多数で採択

振興文教委員会

○議案 池田町立美術館の指定管理者の指定について

意見 公募のやり直しは行政事務手続きの誤りで発生した。より慎重な業務執行に留意していただきたい。

問 指定期間は3年の方が良いと思ひ。

答 公募の期間は5年。毎年実績を検証し、3年目で著しく実績に問題があれば契約の中で解約も考えていきたい。

審議結果 賛成多数で可決

●陳情 池田町議会12月定例議会に提出される予定の池田町立美術館指定管理者の指定についての議案取り扱いについて

問 指名入札に至った経過は。

答 町長名で行われたことを修正し審査会からやり直した。

本会議の質疑・討論

○議案 池田町一般会計補正予算について

問 歳入で財政調整基金からの繰り入れがあるが今後も続く見通しか。またその残高は。

答 繰り入れは12月までで3月には不用額が出て減額補正となると思ひ。机上の数字だが、年度当初は8億7千9百32万円あったが、残高は6億2千696万円となっている。

●陳情 全国森林環境税の創設に関する意見書の採択に関する陳情について

意見 県の森林税が決定したので創設は必要ない。

審議結果 反対多数で不採択

●陳情 病児保育の実施を求める陳情について

意見 大町病院は遠い。他機関の協力を得てあつみ病院で実施されたい。

審議結果 全員賛成で採択

賛成討論 矢口稔議員 今回の補正予算では、早急な対応が必要な費用の計上があった。その中で、費用の削減として、「エネルギーサービスパイダー」の導入による公共施設の電気料の削減が盛り込まれた。義務的経費が増加するなかで、この取り組みは大いに評価できる。また、就学援助費として入学前に必要な

世帯に対し援助が行われ評価したい。予算の厳しいなか、今後未知恵を絞ってこのような取り組みをされ、費用対効果が最大になるよう期待し賛成討論とする。

○議案 池田町立美術館の指定管理者の指定について

反対討論 矢口稔議員 指定管理期間が5年間であり、引き続き現在の指定管理者を指定する内容である。5年間という期間は長いと感じる。理由として、

①今後、美術館の空調施設のメンテナンス費用が多額になると予想されること。
②指定管理の途中でチェックがしっかりできるか不安であること。
③議会に対して十分な説明が不足していたこと。

以上のことを踏まえ、町民に身近な文化施設とはい切れない。指定管理期間を今までの3年とし、その時点で随意契約などにより延長などを検討することができると思ひ。よってこの議案は反対すべきと考える。

●陳情 若い人も安心できる年金制度を国の責任で創設するための意見書提出を要請する陳情

反対討論 立野泰議員

年金の受給資格も25年から10年となった事は大きな進歩である。しかし、財源などこれからどうするのか、社会保障の自立をもっと考えるべきである。若い時は苦勞したとしても高齢になつたら何もしなくても受給でき、悠々自適な生活ができるよう、もっと慎重審議をすべきであり継続審査を求める。



審査結果

12月定例会
提出案件

| 区分 | 件名 | 審査結果 | 倉科栄司 | 横澤はま | 矢口稔 | 矢口新平 | 大出美晴 | 和澤忠志 | 薄井孝彦 | 服部久子 | 櫻井康人 | 立野泰 |
|----|---|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|
| 議案 | 町一般職の職員の給与の一部を改正する条例 人事院勧告に基づき一般職員の給与の改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 町特別職の職員等の給与の一部を改正する条例 農業委員会委員の報酬の改正及び空き家対策協議会設置に伴う委員報酬 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 町転作促進研修センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例 広津集落センターの老朽化により取り壊す。 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 町道の路線廃止について | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成29年度一般会計補正予算 約1億3000万円を増額し、障がい者福祉や農業新規就労支援などに充てた。 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算 療養給付費が増え4300万円増額した。 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成29年度下水道事業特別会計補正予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成29年度水道事業会計補正予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 池田町立美術館の指定管理者の指定について 指定管理者をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)とする。 | 可決 | ○ | ● | ● | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情 | 平成29年度地域交流センター等建設工事請負契約の締結について 一般競争入札により入札額10億5624万円、 傳刀・小山特定建設工事共同企業体に落札された。 | 可決 | ○ | ○ | ○ | 欠席 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 全国森林環境税の創設に関する意見書の採択に関する陳情 | 不採択 | ● | ● | ● | | ● | ○ | ● | ● | ● | ● |
| | 病児保育の実施を求める陳情 | 採択 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 池田町議会12月定例議会に提案される予定の池田町立美術館指定管理者の指定についての議案取扱いについて | 採択 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| 発議 | 若い人も高齢者も安心できる年金制度を国の責任で創設するための意見書提出を要請する陳情 | 採択 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書について | 可決 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |



請願(陳情)の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと
表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)

休日議会を開催！

8議員が町政をたずねます



平日がお仕事の方にも傍聴していただけるよう、土曜日に議会を開催しました。一般質問は町民の日常の声や議員の考えをもとに、町長や教育長などへその方針を問うものです。

休日議会はひとり40分の制限時間内で質問します。議会だよりはスペースの都合上、質問と答弁の要約を記載しています。

| 質問者 | 質問事項 |
|--------|---|
| 横澤はま議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活から地域力創造と活性化について 2. 子どもの食生活改善に向けた取り組みは 3. 「信州型自然保育認定制度」との連携による保育について |
| 倉科栄司議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 町道における交通安全対策について 2. 職員の勤務体制について |
| 薄井孝彦議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 町民の福祉・健康の増進対策について 2. まちなかの活性化対策について |
| 服部久子議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 放課後子ども総合プランについて 2. 国民健康保険制度の広域化で国保料値上げになるのか 3. 臨時保育士の待遇改善を 4. 難聴者と外国人住民への支援 |
| 矢口 稔議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 池田町だからできる他市町村と違った移住定住施策の取り組みは 2. 外に発信する広報戦略の策定について |
| 大出美晴議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住・定住政策について |
| 和澤忠志議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 花とハーブの町らしく学校給食に桑茶の導入を 2. 生活改善予防対策として学校給食に発芽玄米の導入を 3. 白樺の家への町としての積極的な支援を |
| 櫻井康人議員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 町おこし施策を多面的に考える |



**食の観点から
地域力創造と活性化は**

横澤 はま 議員

【健康福祉課長】池田町食育推進計画の中で示している

問 健康長寿社会を目指す栄養改善の取り組みとして、生活習慣病リスクを抑える「減らそう塩分・増やそう野菜」対策は。

答 町広報や家庭配布の野菜レシピ集の作成を進めている。減塩対策は、健診結果説明会や健康教室で啓発を継続していく。

まちづくり」の具体的な施策は。

答 食育推進計画における5年間の重点テーマを設定し、ライフステージに沿った関係機関ごとの施策を展開していく。

問 食育基本目標に沿った事業の展開を進めるために、多くの町民が関わり活動しやすい「食育推進プロジェクト」の設置を。

答 食に関わる団体の高齢化が進んでおりメンバーの確保が課題。まずは、現在ある団体が継続して活動していけるよう各担当課で支援していく。



和食文化の継承（一汁三菜）

問 「池田町食生活実践の手引き」家庭版」の作成を。

答 「食生活実践の

手引き」となるリーフレットを年度末までに作成し配布する。

子どもの食生活改善に向けた取り組みは

問 子どもの貧困や「朝食」朝食欠食など、家庭や社会で考えていく必要を感じるが、教育の立場としての考えは。

答 「池田町食育推進計画」に沿った施策の展開を町全体の取り組みとしてしっかりと実行すること。学校で体験したことを家族に話したり、一緒に実践・料理してみる。

「信州型自然保育認定制度」との連携による保育について

問 信州型自然保育の運営を取り組みは。

答 県の推進目的と整合性を図りながら、町の「緑豊かな自然」を通し、子育てし易い環境と認識できるようにサポートしていく。少子対策の一環として町外に広げ、定住促進に繋がるよう情報発信をしていく。



**町道における
交通安全対策について**

倉科 栄司 議員

【建設水道課長】関係機関からの通報やパトロールで安全対策に努めている

町道の道路状況の管理、パトロールについて

問 総延長300kmを超える町道の道路状況の管理と、パトロールの実施状況は。

答 職員による定期的なパトロールは実施困難である。現場へ出向く際など日常的な業務の中で、異状を発見すれば応急処置をとっている。また、舗装の剥離や陥没など修繕が必要な道路状況について自治会や町民の方から通報をもらっている。

町道の交差点での安全対策について

問 急激な人口減少や高齢化で、交差点付近の農地や畔の手入れができず、木や草が伸びて交通安全上支障をきたしている。また垣根が伸びて道路にせり出し危険

な所が増えている。樹木の伐採や草などの刈り込みの依頼を当該土地の所有者に依頼しているか。

答 道路上に張り出した草木などについては、道路のパトロールや町民からの通報などにより現地調査を行い、所有者に協力の依頼や指導を行っている。また、「広報いけだ」にも樹木の剪定に協力をお願いの記事を掲載している。

総合体育館における職員の勤務体制について

問 町民の利用が非常に多い総合体育館に、正規職員が勤務していない状況が9カ月になろうとしている。更にこの12月議会

に来年3月までの臨時職員の賃金が補正要求された。現在の状況に対する率直な考えと今後の対応は。

答 現在の状況では決められた仕事をこなすのが精一杯で、新しい企画などに取り組むことは難しい状況である。すぐにでも正規職員を配置したい思いではあるが、現在の役場職員体制では他課からの職員異動は困難である。

4月の館長復帰に併せ、もう1名の正規職員の配置を実現し万全を期したい。



町道交差点

高齢世帯への見守り支援をどのように進めるか

薄井 孝彦 議員



【健康福祉課長】北アルプス広域連合と連携し、配食事業で見守りを進める

問 増加する高齢な独居・二人世帯への見守り及び除雪への支援対策は。

答 来年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」のなかで配食サービスでの見守り支援を検討している。除雪支援も検討する。

問 町は社協の「サポートてるてる」事業で希望者に見守りも兼ねた配食事業を行っている。しかし、助成はしていない。

町に隣接する自治体では高齢者の健康保持の観点から配食サービスの併当などへの助成を実施している。町でも助成を。課題として研究する。

問 当町は高血圧症・脳血管疾患などの有病率が高い。原因と対策は。

答 原因として遺伝、塩分摂取量、運動不足などが上げられる。個人にあわせて保健指導に努める。

問 過剰な塩分摂取を抑えるため、町の健康診断で尿の塩分検査を実施できないか。

答 多方面から研究する。

問 高校生通学費助成制度の創設について、本年6月一般質問で問うた。町は教育委員会で検討するとした。検討結果と町の考えは。

答 教育委員



本年5月オープン(予定) 新「スペースゼロ」イメージ

会は助成を望ましいとしたが、義務教育に費用がかかるので制度創設は困難である。

まちなかの活性化施設「スペースゼロ」の運営に、町の指導と人的支援を

問 二丁目建設中のスペースゼロはまちなかの賑わい創出・産業創出・町づくりの拠点を目指す。運営を早期に軌道に乗せるため、町職員1名・移住定住係・地域おこし協力隊員3名の派遣を。

答 移住定住職員の派遣は総務課の空き家対策と連携できなくなり困難である。特産品担当地域おこし協力隊員を派遣する。



子ども総合プランは保護者の意見の重視を

服部 久子 議員

【教育保育課長】保護者の意見を取り入れて充実させる

放課後子ども総合プラン プランの説明会が遅い。保護者に納得してもらえないのか。

問 国の制度導入に合致するか検討して今になった。説明会で出た意見を参考にプランを作成する。

問 今まで無料だったが登録料、利用料を徴収する計画である。プランの実施で国、県から経費の3分の2が補助される。なぜ有料にするのか。

答 受益者負担論に基づく。

問 国民健康保険の広域化で国保料は上げるのか

答 国保運営が県に移行され、加入者の負担が増える見込みである。国も認めている法定外繰り入れや国保基金を入れて負担を抑えられないか。

答 法定外繰り入れは、加

入者以外に負担を強いるので考えていない。基金で対応したい。

問 国保加入者の人数分かかる医療分の値上げは、町独自で据え置きできないか。

答 一人あたりの医療費を抑えない限り納付金に影響が出る。今後、国保料算定は資産割を省くことを検討する。

問 臨時保育士の処遇改善を

問 保育事業の充実と保育士確保のため、常勤の臨時保育士を正規職にできないか。

答 クラス担任の1人と主任保育士の2人が臨時職であるが、本年度から処遇改善で賞与を支給している。

問 臨時保育士の更新を単年度から複数年にできないか。



児童センターでの放課後の楽しい時間

答 役場臨時職員はすべて単年度で、特別にはできない。

難聴者と外国人住民への支援

問 難聴者のために公共施設や役場窓口にヒアリンググループの設置ができないか。

答 現在、役場と福祉センター窓口にマイクレシーバーで対応している。公共施設のヒアリンググループ設置は要望がないので設置しない。

問 外国人住民への通訳機器の窓口設置を。

答 現状では対応できなかった事例がない。



池田町だからできる移住定住施策の取り組みは

矢口 稔 議員

【町長】 入学祝い金の支給を計画している

答 9月に少子化対策プロジェクトを庁内に立ち上げた。池田町独自の施策として来年度、入学祝い金の支給に向けて事業実施を計画している。今後各課連携による移住定住施策を推進する。

総合版パンフ作成へ

問 庁内の各課において様々な移住定住の取り組みをしている。リーフレット等作成し希望者にアピールできないか。

答 総合版のパンフレット作成に向けて今後対処

していきたい。

町を離れた人への広報転出者データを活用

問 町の人口減少の要因として、20代から30代の人の転出がある。町外へ離れた人たちへのアプローチが必要ではないか。

答 本人の同意があれば転出者データを作成して、「ふるさと小包便」など情報発信が可能である。現在作業中であるので、しばらく待つてほしい。

問 小中学校では住所録がないために同級会などが開催できない。名簿などの整備を検討できないか。

答 中学卒業時への住所録の作成について、本人や家族の同意を得た上で、名簿などを整備していきたい。

広報戦略策定へ研究検討

問 町外へのPRが不足している。担当者が変わっても方針が変わらない、しっかりとした広報戦略を立てるべきだと思いが。

答 戦略的に広報を展開できるように実行計画としての「広報戦略の基本方針・プラン」的なものを策定する方向で研究・検討したい。

SNS来年度早期に導入

問 SNS(インターネット)を利用したソーシャル・ネットワーキング・サービス(S)を活用して、イベント告知情報を積極的に利用し、興味のある方への確に情報が伝わるような取り組みは。

答 来年度の早い時期での導入に向けた準備を現在進めている。



入学時に祝い金を支給へ
(会染小学校入学式)



空き家、空き公共施設の活用は

大出 美晴 議員

【町長】一部、今年度中に移住定住お試し住宅として改修予定

問 移住定住政策における空き家等の活用についての研修で、石川県珠洲市に行った。池田町でも行っている空き家バンク制度や、Uターン・Uターン者に対する補助金の活用を先進的に行っている。また、空き校舎の利活用に力を入れている。池田町では空き家や空き施設の利活用の動きが始まったばかりだが、売買や賃貸にどうかかわって行くのか。

答 12月より全く利用されていない公共施設について、売却の公示をしている。特に不動産業者向けに住宅造成地として活用していただきたいと考えている。

問 珠洲市は空き校舎の利活用に力を入れている。地域づくり連携協定の締結を早くから行い、金沢

大学や近隣市町村と協力し持続可能な地域発展を目指している。池田町でも学校連携や地域連携を移住定住の面から、進める考えはあるか。

答 珠洲市のように廃校になった学校は無いので、建設される交流センターがその役割を担い、同センターのソフト事業の一環として大学から講師を派遣して頂くことは可能。その場合受講生を幅広く募集し、起業に結びつける努力が必要と痛感している。また来年4月から7月、信大生が授業の一環として、当町の空き家の実態と課題を探り、対策を模索しフィードバックすること、これも学校連携の一つと考える。

Uターン・Uターン者



空き校舎の利活用

問 観光客も含め初めて池田町を訪れる人たちに魅力を伝えるのはなかなか難しいと思う。積極的な外に出て宣伝しなくては人は集まってこない気がする。景観を宣伝しに行くのか、特産品を宣伝しに行くのか、はつきりとしたテーマを決め行動すべきである。そこから移住者への斡旋が見えてくるのではないか。町長の考えを聞く。

答 移住体験ライツツアーを6回開催し、東京名古屋で行われた移住セミナーにも参加し、町のPRと移住相談を実施した。地域おこし協力隊の力を借り、特産品開発をし総合的な魅力アップを図りPRしていく。



花とハーブの町らしく 学校給食に桑茶の導入を

和沢 忠志 議員

【教育保育課長】
学校給食に使用できるか検討していきたい

の際には効能や販売所などをPRしている。

発芽玄米について

問 発芽玄米の最大の特長はギャバ（ガンマーアミノ酸）が白米の4倍も含まれている。イライラやストレス解消、体調不良に効果があると言われる。現代の子どもたちは情報化時代の中でストレスがたまり過ぎていく。この対策として学校給食に発芽玄米の導入を。

答 発芽玄米は健康食であると考えられる。学校給食に取り入れている学校もあるが、問題点もあり今後学校給食センターとしても検討していきたい。

「白樺の家」について

問 開所当時、町として土地買収や造成、無償貸与など、町をあげて積極的に支援をして開所にしたとの事。保護者や関係者達に大変感謝されたと伺っている。この業界全体での課題であり、社会福祉法人である「白樺の家」が支援スタッフ

不足の問題を抱えている。開所時のような町の積極的な支援を。

答 町の他の福祉サービスマニヤと同一ように扱う事が基本であり、支援は困難と考える。

問 行政としてできることは何か町長に伺いたい。

答 情報交換しながら、できることについてはお互いに協力して支えていく事が必要と考えている。



健康によい発芽玄米「ごはん

一口メモ

発芽玄米とは…
玄米を一昼夜ぬるま湯に浸し芽が出たもの。



町おこし、町の活性化の 施策は

桜井 康人 議員

「産業振興課長」農・商・工業が連携し、町民を巻きこんだ活動が必要

問 てるてる坊主アートの展示したてるてる坊主を各家庭、商店に配布し展示を。

答 観光協会では、一般家庭への配布展示は現在考えていない。公共施設及び商店などは、展示方法を検討する。

問 花の里づくり事業を町おこしに。

答 本年度30の自治会で活動し、自治会、個人を対象にコンクールを開催した。現在専門部会で来年度の進め方を検討している。地域の活動状況を見る。町外の方にPRすることが重要であり、町ホームページなどで活用していく。

問 ハーブ茶、桑茶を町の飲食店、商店での扱いを。

答 現在11店舗で扱っており、観光客等にもパン

フレットでPRしている。今後更に協力店を増やしていきたい。

問 町の観光拠点、町の顔である道の駅を拠点とした町おこしを。

答 ハーブガーデンをリニューアルし、ハーブの足湯と共に集客ができた。ハーブと景観、森林資源を生かしたハーバルヘルスツーリズムを進めている。こうした体験型観光構想が町の観光目玉となるよう進めていく。

問 農・商・工業連携による町おこしや6次産業化の推進と職人の後継者対策を。

答 商工会の6次産業化部会に町も参画し、農産物の販路拡大、加工研究、加工品の販路について支援していく。また、職人の後継者確保が産業界全般の課題となっている。池

工版デュアルシステムの活用、県事業引継ぎ支援センターの活用など、今後商工会と対応策について検討する。

問 交流センターのソフト事業設計を早急に。

答 新池田学問所での塾や図書館行事の継続を図り、交流センターでは運営管理を応援できる利用者の会のような組織を立ち上げ、自主事業の開催も期待している。

問 教育サイドからの町おこしに将棋の町、池田町構想の実現を。

答 授業に取り入れるのには無理がある。新交流センターにおいて、将棋教室が創設され子どもたちの将棋熱が高まることに期待する。



町おこしの願いをこめて！

9月議会での 28年度決算審査意見に対する町回答

1 実質公債費比率の見極めは短期でなく長期的見通しで財政運営をされたい。

町回答 将来の財政規模が算定できないので試算はできないが、今後上昇すると思われる。

2 公共施設総合管理計画については住民の意見を聞いて実施をされたい。

町回答 住民の合意形成に努める。

3 ワイン祭りの4年間の実績を分析し内容の充実を計られたい。

町回答 実行委員会の反省会を開催し検討する。

4 ハーバルヘルスツーリズム推進事業は、町民を巻き込んだ取り組みの強化をされたい。

町回答 花とハーブの里ブランド化推進委員会で検討する。

5 ひとり暮らしの高齢者が増えた。
健康で生活できるよう更なる取り組みをされたい。

町回答 ゴム体操を地域の健康づくり活動として普及している。
地区サロンや敬老祭、自主グループなど支援していく。



体のストレッチ・ゴムのびのび体操

6 健康に関心の低い若年層に対する健康増進の取り組みを強化されたい。

町回答 9月のヤング健診を受けなかった人に1月、2月の健診を勧める。

7 地域交流センターが町民に有効活用されるよう具体的な取り組みを。

町回答 センターの運営管理を応援してもらうために団体と一般公募による組織を考えている。

8 地域交流センターはまちなかの賑わい拠点となるよう調査研究を。

町回答 現在行っている講座を継続し、公民館をあまり利用されない方にも来てもらえるよう検討する。産業振興課、商工会などと連携を考えている。



熱気あふれるみのり塾



〈表紙〉健康で輝く一年間であるように！

池田町体育協会陸上クラブでは、恒例の元旦マラソンでさわやかな陽気のもと新年のスタートを切った。

町内外の幼児から高齢者までの約80人が汗を流した。池田保育園を発着点に周遊2kmを体力に合わせ、思い思いの距離やペースで走り、白い息を弾ませていた。

あれこれ

委員会では定例会以外でも担当の事業や課題となっている事案について調査研究・視察などを行っています。

振興文教委員会

「放課後子ども総合プラン」を検証する

教育委員会は、来年度から児童センターの運営が大きく変わる方針を出した。利用者の説明会は10月30日と11月18日に開催され、どちらの説明会も50人以上の参加者があり、振興文教委員会や議員協議会でも説明があった。

「放課後子ども総合プラン」は、保護者が昼間家庭にいない児童を預かる「放課後児童クラブ」と、放課後子どもが自由に来られる「放課後子ども教室」に区別する。今までの大きな違いは、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の場所を分けて実施し、それぞれ登録料や利用料を徴収することとしたことである。

放課後児童クラブは、池田、会染それぞれの児童センターで対応し、放課後子ども教室は、池田、会染それぞれの小学校の空き教室や地域の公共施設を週2日利用する。また、放課後子ども教室は、地域のボランティアの協力を得て、水曜日、日曜、将棋、琴、科学、編み物など、参加自由の活動が予定されている。

登録料及び利用料については、保護者のご意見を基に検討する事になった。

なお、低所得者などのため減免措置がなされている。

利用者からの活発な意見では、児童クラブの利用者から、「保護者は祖父母も対象とするのか」、「月額100円だとフルに利用すれば非常に高額になる」、「同一世帯の第二子が半額、三子が無料になっているが、同時の利用が条件か」などの質問が出され、今後、検討するとした。

このプランを実施すれば、国、県から3分の1ずつ補助があり、町の負担は今のまでの3分の1で済む。できるだけ利用者負担を抑えたプランにしていく必要がある。

子育て世帯は共働きが増えている。若い世帯を支援することで出生率を上げ、安心して子育てができるよう、今後利用者の声をよく聞いてプランの充実を進める必要がある。

総務福祉委員会視察研修

石川県珠洲市の概要

石川県珠洲市も人口が極端に減少し、高齢化比率も47%を上回っている。

特産品は塩や大豆、岩がき、海藻、珪藻土七輪、珠洲焼等がある。また、世界農業遺産に認定され、その背景には海の幸、山の幸と奥能登特有の伝統文化や土地柄人柄がある。



珠洲市を訪ねて

空き家を活用した移住・定住施策

人口減少と少子高齢化による空き家件数の増加により、移住者に斡旋することによって歯止めをかけている。その施策として、

- 空き家バンク制度
 - U・I・ターン世帯への家賃補助
 - 空き家購入費補助金
 - 空き家改修費補助金
 - 定住促進・空き家活用事業
- これらの取り組みを積極的に行っている。

空き家バンク制度を使い売買や賃貸が可能な市内の空き家を登録し、市の

ホームページで紹介し、物件の案内や契約は、宅地建物取引業組合に委託して促進を図っている。

空き家購入補助金、空き家改修費補助金、U・I・ターン世帯への家賃補助を行うことで利用実績を上げている。

空き校舎の活用地域と学校の連携

旧小泊小学校の校舎を活用し、能登半島里山・里海自然学校がスタートした。金沢大学、石川県立大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町において地域づくり連携協定の締結が行われ、学校や市町村が連携することで移住定住政策にもプラスになっている。

金沢大学は能登学舎として色々な経過をたどった後、能登里山・里海マイスターの育成プログラムが始まった。

それぞれの人がそれぞれのテーマを持ち学んだことを活かし、職業として身につける中で珠洲市に移り住み活動している人もいる。珠洲市としてもこのような人が増えてくれることを期待している。

珠洲市は能登の先端で大きな町並みも無く、静かな場所である。

市長の強い意志により移住定住政策が進められている。こつこつと続けることが結果に繋がると思う。



旧校舎を利活用して活動する

委員会のうごき

振興文教委員会視察研修

岐阜県池田町池田温泉

町営の日帰り入浴施設。泉質がナトリウム―炭酸水素塩泉。肌が又ル又ルする性質で美肌効果が高いと評判。

1日400人の入場者が休日に1千200人と激増する。新館を平成15年に開館。施設館長自ら150力所を超える施設に売り込みを行う。新館には指定管理によるレストランと宿泊部門を充実。経営は順調であるが、増えすぎる傾向になる休日の対応が課題とのこと。温泉滑り台や福祉風呂などで他施設と差別化を図っている。利用者は町内21.2%、県内55.1%、県外23.7%。経営は黒字。余剰分を基金へ積み立てているとのこと。

また、隣接の道の駅にはドコモと共同でレンタサイクル事業を開始。GPSにより観光客がどこに立ち寄ったのか把握し、観光集客のビッグデータとして活用している。



泉質はナトリウム炭酸水素でお肌すべすべ!

岐阜市ぎふメディアコスモス

岐阜市の中心街に位置し、大病院跡地に平成27年7月にオープンした複合型公共施設である。館内には図書館を中心に多目的ホール、市民活動交流センター、多文化交流プラザなどが設置されている。また、コンビニ、コーヒーションも併設され、長時間の滞在にも対応した施設である。施設のキャッチコピーは「ひとりでもフムフム・あなたとドキドキ・みんなでワイワイ」とのこと。

〈図書館機能〉

天井に無数のグローブと呼ばれる布製の大きな電気傘があり模様ごとに書籍のゾーン分けをしている。子どもスペースには、親子2人で入って本を読める猫つぐらや寝



児童コーナーの猫つぐらならぬ親子つぐら

転んで本と触れ合うコーナーがある。中高生の資料コーナーと一緒に専用机が配置されている。ワンフロアで広がりやすい幼児の声も「子どもの声は未来の声」として捉え、目くじらを立てずに過ごせる空間としての機能を両立させているところがユニークであった。

〈交流センター機能〉

コンビニが併設されているため、基本的に1階は飲食が可能。会議室名が目的別に「かんかえる・おどる・つながるスタジオ」などユニークで公共施設を全面に出していないところが素晴らしいと感じた。スペースの使い方やソフト面の工夫などがいく所にも感じられる建物であった。

11月臨時会の概要

11月臨時会が11月24日に開会され、池田町一般会計補正予算案を可決しました。

公共土木施設災害復旧事業

1億1010万円

財源：公共土木施設

災害復旧費負担金(国) 6136万円
補助災害復旧事業債(県) 3060万円
一般財源 1814万円
台風21、22号による災害復旧費用

まちなか賑わい拠点整備事業

1482万円

財源：てるてる坊主ふるさと応援基金 1482万円
エレベーター設置及び厨房備品購入費用



建設中のまちなか賑わい拠点施設

弓道場移転事業

300万円

財源：寄附金300万円
更衣室の拡張費用



着工になった弓道場

